



第二回仕事の学校



仕事の学校は、「仕事」をテーマに高校生を対象にした五泊六日のセミナーです。全国から集まった高校生が、自分の「夢」と「仕事」と「社会」、そして自分「自身」のことを一緒に考える場、それが仕事の学校です。

開催期間：8月4日～8月9日（五泊六日）

開催場所：宿 泊→新横浜プリンスホテル

プログラム→岩崎学園新横浜1号館

相鉄岩崎学園ビル横浜西口2号館

参加費：4万円

参加者：高校生22人、スタッフ13人

主催：仕事の学校 実行委員会

H P：http://www.shigotonogakkou.net/2008.html



～参加者の体験談・感想～

仕事の学校に参加して、とっても良かった！これがまず一番の感想。そして、この体験や感動を是非他の人にも伝えたいと思い、文章を作ってみました。これを読んで、もし仕事の学校に少しでも興味を持ってくれる人がいたら、私はとてもうれしく思います。

私が仕事の学校と出会った瞬間に思い浮かんだ言葉。「仕事の学校？なに、これ？」たまたま検索して発見した時の第一印象。何か、魅かれるものがありました。

HPを見ていると、『仕事と自分に近づく』『あなたの夢は？』など書いてあり、さらに興味を持ち、参加したいと思い、概要を見て参加費の“4万円”に驚きました。私は当初、この金額を見て高いと思いました。参加してみた今は安かったくらいかと思っています。今、これを読んでくれているあなたはどのように感じているのでしょうか？

ところで、体験談と言うことで実際に仕事の学校に行ってきたことを書こうと思います。仕事の学校は五泊六日のうち、二日目と四日目は仕事体験に企業に行き、その他の日は参加者同士での話し合いや聴き合い、スケッチブックに書くなどが主でした。ここにすべてを書ききれないのがとても残念ですが、ほんの一部をご紹介します。

初日の一番のグループワーク？は、実行委員長の本城さん曰く、『不親切な大人（＝スタッフ）』と四人がけのテーブルに三人の参加者で行った『ワールドカフェ』。参加者同士でテーマについて7分間話す。スタッフが救いの手を差し伸べてくれるのかと思いきや、大人は一切話さずに、ひたすら参加者の言ったことを大きな模造紙にメモする。ある意味不親切？家庭や学校と言うぬるま湯から知らない人しかいないと言う冷水の中に入った気分・・・目が覚めた。一歩外に足を踏み出すことが、私にとって大きな変化のきっかけになりました。

二日目、仕事体験先に電車を使って二人一組で行く。私は『ネパリ・バザーロ』という、フェアトレードをしている会社で体験させていただきました。担当の方がフェアトレードのことや担当の方やネパリという会社の仕事に対する思いなどなど、親切丁寧に熱く語ってくれました。ネパールの人たちの技術力アップを手伝ったり、新産業をつくったりして、現地の方々の自立のために少人数でも日々がんばっている姿がとてまかつよく、印象に残っています。『一人ひとりの力は本当に大きい』自分達の仕事次第で関わるネパールの人たちの生活そのものが変わる大きな責任がある中で、ネパールの人たちが、ネパールの人のことを考えて、自分にできる最大限の力を出そうと心がけている姿は、本当に輝いているって表現がぴ

ったりでした。仕事体験が終わったあと、参加者同士でそれぞれの仕事体験先で感じたことを話し、自分の理解を深めたり、人の話を聴いたりしました。

三日目、「仕事の先にある人の存在を感じた場面」について talk & listen（四人一組になり、7分間ひたすら一人で話し、その後、7分間三人からのフィードバックを受ける）を行いました。どんな仕事にもその先に人がいることを学び、仕事をするうえでそれを意識することが自分のやる気のアップにつながり、作業効率・能率がアップする相乗効果もあることが分かりました。その後、三時間を一緒に過ごす大人（スタッフ）を三分間のプレゼンテーションで決めて、みっちり三時間コースで大人と話をしたり、夕方にはスペシャルゲストで第一期卒業生が来たりと、予想外の出来事も。

四日目は、仕事体験二回目。二日目と同様に朝からネパリへ仕事体験に行きました。一回目の仕事体験から、一日開けて考えたこと、質問したいことをまとめて体験先の方にお話を伺ったり、実際に仕事の体験をしたりしました。ネパリの方々には本当に、いろいろとお世話になったし、いい勉強・体験をさせていただきました！この辺は文章だけでは、とても書ききれないので省略します。

五日目、丸々一日『自分に近づく』をテーマに、参加者を三つに分けて、スタッフ以外の大人が一人入って、ひたすら話し続けました。時間にして、十一時間！始めは、無理だと思ったけれど、終わってみると案外速く、でも濃い十一時間でした。『自分』に近づく＝自分を知るだけじゃない。

六日目の最終日。当初予定していたプログラムを変更して、スタッフの方が私達に何をしたいかを聞いてくれた。正直、最後の日にやるものを決めかねていると言っていて、私達のためにそこまで考えてくれることがうれしかった。スタッフの方達は、答えを教えてくれない。それは一日目のところでも書いたけど、自分の考えを深めるための質問をたくさんしてくれました。これって、答えを教えてくれるより、大変だけどよっぽど親切だと思いました。そんなこんなで、なぜか『フルーツバスケット』が始まり、一回目の質問「この仕事の学校に来てよかったと思っている人！」で迷わず全員が移動。本当に、みんなそう思えるくらいすごくいい六日間です！最後に二人一組で、雑談三分＋『仕事と自分に近づく』十分話し合った。それぞれ、なにかしら得るものがあった。表情が、初日よりかなり明るく和やかな印象を受けました。私も、そうでした。仕事の学校に来て学んだこと、たくさんあって書ききれないけれど、自分なりの答えを見つけたり、見つけるための種をまいたりすることができました。

「答えのない質問を考えることになれた」と第一回の卒業生の言葉でHPに乗っているように、答えがない質問に対して自分自身で考え、時には人の意見を真剣に聴いて、自分なりに考えることができるようになりました。また、仕事に対する観方『仕事観』が大きく変わりました。これは、私の観方なのであえて書きません。スタッフの方は私達に『私にとっての仕事って？』など一切答えを教えることをしませんでした。それは、自分の中にしか答えがないからです。「世の中には、教えられることと教えられないことがある」仕事の学校に来て一番最初に言われたことで、考えたことでした。

六日間の仕事の学校を振り返って、とにかく思ったのが『時間が早い！』。みんな一生懸命考え、話をして、聴いた六日間を、振り返ってみると本当に時間が早く感じました。もっとここ居たいと思った仕事の学校とネパリでの仕事体験。自分から何かを得たいと思ったなら、ここは本当にオススメの場所です！！私の体験談やつたない説明で伝えられることは、本当に一部分だけです。私が感じたことしか伝えられません。だから、是非行って体験してもらいたい！

最後まで読んでくださり、ありがとうございます！